

柏ビレジ自治会便り

2011年8月号

柏ビレジ・ニュース

2011年8月6日
柏ビレジ自治会発行
自治会事務局(自治会館)
TEL 04-7132-1925
FAX 04-7132-1965

2011年8月20日(土) 本祭り開催!

- 15:30 ~ 16:30 起震車体験 (砂場横)
 - 16:30 ~ 17:30 サマージャズコンサート
 - 18:00 ~ 20:30 盆踊り
 - 20:30 ~ 21:00 打ち上げ花火
 - 21:00 ~ 21:30 盆踊り
- (小雨決行・雨天順延翌日)

今年の夏祭りについて

3月の福島原発事故により、柏市を始め東葛地方で通常より高い放射線量が観測されているのが明らかになりました。東葛地区放射線対策協議会により、6月14日~16日に実施された測定では、夏祭り主会場の「柏ビレジ近隣公園」は、0.44マイクロシーベルト/時(地上1m)という結果が公表されています。原発事故地を除く地域については、国の安全基準は明示されておらず、秋山柏市長を始め東葛6市(柏、松戸、流山、我孫子、野田、鎌ヶ谷)の市長は、去る6月29日、

- 安全基準値の早期策定と公表、 ●基準値を超えた場合の対応策の明示、
- 費用の全額国庫負担を内容とする要望書を総理大臣、文科大臣、厚労大臣に提出し回答を求めているのが現状です。国及び市の明確な安全基準が示されない中、自治会として「柏ビレジ夏祭り」にいかに対応するかについて、7月1日付柏市広報を参考に役員会にて慎重に議論を重ねた結果以下のようなことが決まりました。

*祭り時間を短縮、外部被ばく量を最小限とする努力をしながら予定通りの開催
子供神輿、花車パレードは中止します。子供会のゲームや模擬店は自治会館での開催となりました。露店は例年通り。

*花火は予定通り実施する。会員から寄せられる花火寄付金の内、10%を東北被災地への義捐金として寄付いたします

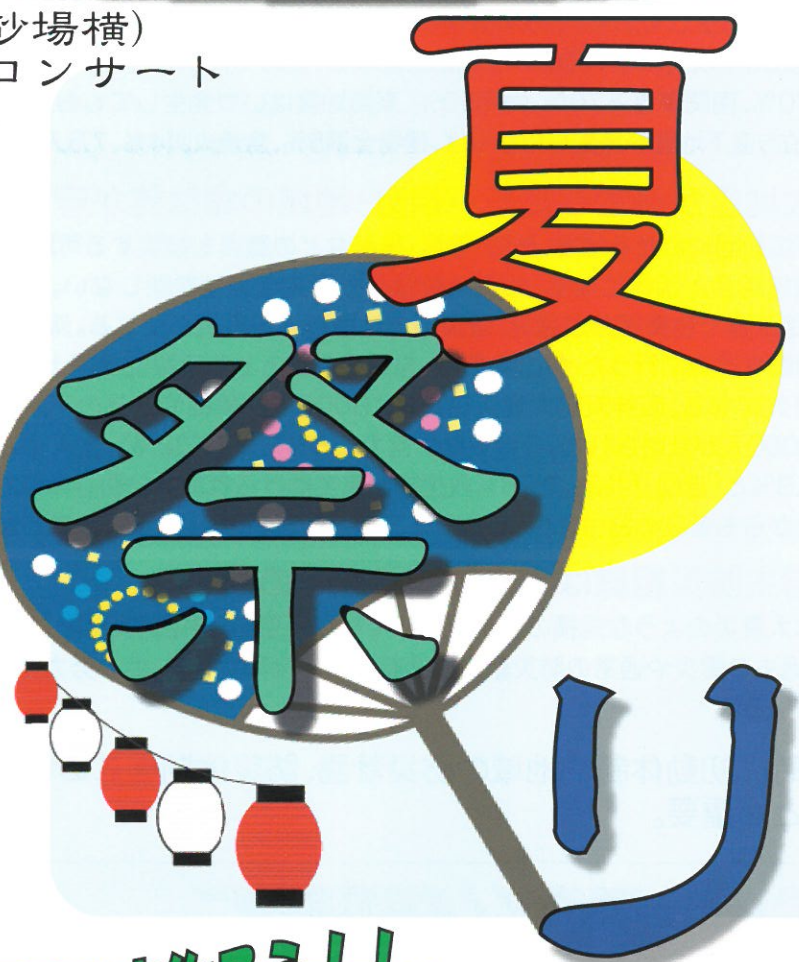
柏ビレジ自治会でも、測定器を購入し、放射線測定など独自調査を進めていきます。自治会員皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

☆☆ 織姫賞受賞!! ☆☆

手をつなごう!!

7月3日(日)

柏祭り田中地区大会
子供会の皆さん



思い出作ろう!!

* 子供会活動 *

いつも子供会活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。現在子供会は約100世帯、140名近くの小学校1年生から6年生までの児童で構成されています。その中から13名の役員で今年度は活動しています。

子供会では毎年、田中地区七夕祭り、ビレジ夏祭り、新樹会様との交流を深めるグランドゴルフ大会、田中地区の運動会、正月の餅つき大会、凧揚げ大会などの行事に参加させて頂いています。先日今年度初めての行事として七夕祭りが無事終了致しました。七夕飾り作りなど比較的地味(?)な遊びに対し実際にどれくらいの子供が参加してくれるか、盛り上がるのだろうかなど内心ちょっぴり心配していました。しかし実際には笹飾りのテーマである「絆」をイメージした手形スタンプや切り絵作りに一人ひとりの子供が真剣に楽しく取り組んでいる姿を見て杞憂に過ぎなかったと感じました。昔と変わらず現在でも昔からの地域行事というものは子供たちにとってワクワクする特別な場となっているようです。

けれども最近では子供達、特に高学年の子供たちにとって現在の子供会行事は参加しにくいという事実もあるようです。行事が行われる土曜・日曜日に塾やスポーツなど習いごとがあったり、高学年ともなってくると(特に男の子にその傾向あり)低学年の時に経験済みのせい、あまり行事自体に面白みを感じないといったことを耳にします。少しでも多くの子供たちに参加してもらい地域行事を継続していくためには、高学年でも楽しめる内容を盛り込むことが課題だと考えています。

更に今年度は放射線問題も抱えることになりました。これから心身共に成長していく子を持つ親にとって、目に見えない放射線の影響が計り知れないだけに不安も大きくなっています。アンケートでも「行事に参加はしたいが不安もあり悩む」といった傾向が見られました。今後様々なご意見を伺いながら少しでも安心して参加できるような行事運営に努めてまいります。引き続き、ご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

子供会会長 堀口 園生さん
副会長 吉澤 由貴さん



柏ビレジ公共下水道化に向けて お知らせ 今後説明会が開かれる予定です!

このたび柏市土木部下水道整備課により柏ビレジの公共下水道化に関するお知らせがありました。柏ビレジは市街化区域内にあり、汚水排水は柏市公共下水道を経由して千葉県手賀沼流域下水道の終末処理場(我孫子市相島新田)で処理される区域になっています。しかし千葉県手賀沼流域下水道および、柏市公共下水道の整備時期と整合が取れなかったため、現在まで暫定的に、集中浄化槽(コミュニティプラント)を設置し、処理を行なってきました。柏ビレジの汚水処理施設は柏ビレジ内の土地所有者等が所有・管理しており、東急不動産株式会社が管理委託を受け、専門業者に委託しています。施設の通常管理は毎月徴収している維持管理費で、また、大修理が生じた場合は大修理充当金から支出し運転を継続してきましたが、施設は設置後35年を経過して老朽化が進んでいるのが現状です。公共下水道化とは、現在柏ビレジの土地所有者が所有している汚水管渠施設・ポンプ施設及び宅地内の最終汚水桝までを柏市に寄付することにより、柏市の所有・管理とし、柏市が公共下水道幹線に継ぎ替えを行い、千葉県手賀沼流域下水道処理場に流れるようにすることを言います。このことにつきまして説明会を開催する予定ですので、ぜひご参加ください。追ってお知らせ致します。

地域での絆を結ぼう！ 「3.11後の地域防災力」のポイント 2011 前期まちづくりスクール

去る6月8日から29日まで、柏の葉キャンパス駅前のUDCKにおいて、2011年度前期まちづくりスクールが開催されました。今回は「3.11後の地域防災力」というテーマで進められ、東大や柏市当局の防災専門家の先生方が、様々な観点からお話をされました。以下は、その中から私達に特に関係の深いテーマ・問題と思われる内容をまとめたものです。

1. M7.5を超える大地震発生確率は高い。

我が国は地震大国で過去30年の間にM6.5以上の地震が予想された10ヶ所のうち、既に8ヶ所で発生している。(95年阪神淡路大震災M7.2、今回の東日本大震災M9.0など)今後30年以内にM7.5超の地震発生確率も、極めて高いと言われている。(東南海60-70%、南関東直下70%、南海50%、東海地震はいつ発生してもおかしくない)もしも、柏市直下地震が発生したならば、建物全壊5%、全焼火災4%、7万人が避難。

2. 大地震が発生したら・・・自分・地域の命は誰が守るのか！

被害が広範囲にわたるほか、消防・警察・役所などの職員も被災する可能性が高く、迅速な救援活動が困難になる。防災無線なども震災直後は機能しない。燃料が大幅不足、道路渋滞で物資運搬が遅延、被災地では救援物資不足が生じる。消火・救出・安否確認活動を迅速に行うためには、町会・自治会を核とした近隣住民同士での協力が必要不可欠になる。阪神淡路大震災時には18000人が建物や家具の下敷きになったが、11000人が救助された。この救助は自力(35%)、家族(32%)、友人・隣人(28%)、通行人3%と「自助」「共助」で98%救援隊が来て助けられた(「公助」)のは2%未満。このことから普段のお付き合い、コミュニティ形成が大切だ、ということがわかる。

3. 自主防災組織は本当に機能するのか！

東日本大震災のような規模の被災状況下では従来型の「自主防災組織」では通用しない。過去の震災や通常の防災組織に捉われず、「自助」「共助」の努力が必要になってきている。

災害時の初動体制や地域の防災計画、防災体制をこの機会に見直すことが重要。

■自主防災組織の活動―「平常時」「災害時」各々の活動が実際に機能するように備える。最初からノウハウがあるわけではない。みんなで考え、構築していくことが力になっていく。また、中途半端な仕組みづくりより、地域住民同士の真のお付き合いこそ大事だと思う。柏市では市民活動を支援していく狙いで「地域づくり推進部」が発足、この活用を考える。

4. 浦安で被災した東大K教授の話から

浦安市は人口15万、ディズニーランドという優良企業を抱えて、市の財政は豊か。この資金が被災地復興の原資として有効。電気・ガス・水道・食料などは2、3週間で何とかとなった。最終的に問題となったのはトイレ。下水道が機能不全となったとき、トイレ処理が最も大変。備蓄するならウエットティッシュ・ポリタンク・吸水シート付きビニール袋。被災を考えると、「勿体 無い意識」を捨ててあえて、「風呂に水を張っておく」ことを勧めたい。自衛隊の給水車がやってくるが、給水所が遠いし、20Lのポリタンクは重い。

■自治会からの情報発信が重要。現場の実情について発信しないと、行政は何もしないし、出来ない。自治体の中には必ず得意分野を持った人がいるので活用する。自治体はまとまりが重要。バラバラでは何も防災や復興は進まない。誰が責任を持つのか、防災意識を常に強く持って対処することがとても重要。2011年度前期まちづくりスクールに関しては、下記UDCKのホームページにまとめたものが掲載されておりますので、是非ご覧ください。

http://www.udck.jp/edu/000298.html

また、来る9月3日(土)午後1時から3時までUDCKにおいて都市の災害に備えるシンポジウムが開催されます。(入場無料)是非ご参加下さい。

(活性化プロジェクト委員 嶋浜記)

防災・防犯の基本は個人ですが、地域の「お互いが助け合う(共助)」ことにより一層の安全が図れるものと思っております。ビレジの諸団体・グループや行政とも連携し活動いたしたく、皆様のご参加・ご協力をお願いいたします。

防災部部長 山崎 孝充

夏も はなみずき 今、注目されています！

●8月は、東大生のグループ、Balloonが小学生対象にイベントを企画しています。詳しくはHPをご覧ください。

http://www.hanamizuki-kv.com/events/events.html

●UDCK柏の葉スタイルNEWSに、はなみずきの活動が紹介されました。ティールームや、月1~2回のペースで開かれるコンサート、映画鑑賞会、また、個人でも利用できる壁面ギャラリー、地域の交流の拠点となるさまざまな活動のこれまでの経緯が紹介されています。これからも講演会やワークショップなど随時企画されます。

柏の葉スタイル News コミュニティルーム (はなみずき) 広報誌の掲載... キーパーソントーク... 6月18日(土) JAZZコンサートが開かれました!



「行きたい時に自由に行ける」が はなみずきのコンセプト。気軽にお立ち寄りください!

シリーズ ご近所の名所



2011年イベントカレンダーより

—大室の盆綱—

綱引きの行事は全国に散在していますが、大別して正月に行うもの、祭礼に行うもの、盆に行うものの三種類があります。共通するのは綱の中央部分を太くし、そこに神が宿るとされ、綱引きに勝つことによって神を自分の方に引き寄せることで幸運や豊作があるとする単純な力比べでしたが、いつしか年の豊凶を占うことに転化して年占いの行事になりました。

大室の盆綱引きは、元禄12年(1699年)青年たちが茅で太綱(力綱)を編み、暮六ツ(午後6時)を合図に引き合いの勝負を行い、その年の吉凶を占ったのが始まりと伝えられています。近年担い手の不足からしばらく休止していましたが、昨年13年ぶりに大室町会が主体となり盆綱引きを復活しました。今年も8月15日に大室ふるさとセンター前の市道で午後6時から8時までの予定でとり行われます。綱作りは当日の朝から行われ、青竹を芯にして長さ20mの荒縄数本をより合わせた元綱に青茅と若竹を織り込んで中央部分を太く作ります。神事を行ったのち、拍子木の合図で五穀豊穡と精霊供養の願いをこめて、若者たちの威勢の良いかけ声とともに盆綱の行事は始まり綱引きは3回行われますが、今は3回目は中央をノコギリで切断し、双方勝ち負けなく終わらせています。

はなみずきでは夏祭り当日は夜10時まで営業します。通常のメニューに加え、ビールセットをご用意。皆様のお越しをお待ちしています。

図書 ボランティア 便り

本を読みたい方、待合で使っていた方、お待たせいたしました!

安全の為、地震時に倒れた本棚を撤去しましたので、本が少なくなりちょっと淋しい図書室ですが、今迄と変わらずご利用下さると嬉しいです。

7月6日の読書会は気に入った本などのフレーズを、声に出して紹介するという内容でした。声に表情をもたせて読むと朗読者になった気がして、いつもと違う自分を見つけられました。おまけに、楽しいおしゃべりもついて良かったです。

また、新しい本を買う為、夏祭りの古本市も開催しますのでお立ち寄りください。誰でも読める単行本や文庫本、絵本など寄付もお待ちしております。人と本、新しい出会いにご協力くだされば幸いです。

